

【第3号様式】おきなわSDGs認証制度 主要評価項目（アクションプランに基づく活動計画書）

1. 団体情報

企業・団体名	MantaFrog GateWay合同会社
--------	-----------------------

2. 申請内容

(1) 2030年のあるべき姿（ビジョン）※記載必須

2030年のあるべき姿（ビジョン）	
* SDGsの目標である2030年までに、「（2）今後2年間で特に注力する活動・取組」の実施によって、貴社/団体が目指す未来を記載ください。 (貴社/団体が目指したい社会、目標の達成に向けて貴社/団体が考える課題、それに対して貴社/団体ができる取組の方向性など)	2030年のあるべき姿の実現へ向けて取り組むゴール * SDGsの17のゴールから選択し、アイコンを入れてください。
MantaFrogが理念として掲げるサステナブルでインクルーシブな社会を目指すために「健常者と障がい者・多様な人々がともに笑顔で働くソーシャルファーム」の実現が大きな目標となっています。 そのためには、沖縄の食材をふんだんに使った弊社独自の焼き菓子を「日本一・世界一美味しいクッキー」として誇りと自信をもって作り続け、世の中の人々に広げる必要があると考えています。 観光客や沖縄に住む人々が「“美味しい”から購入する」という当たり前のサステナブルな行動を通して、沖縄そして石垣島・八重山諸島に暮らす県民が、今後にわたり笑顔で働き続けることのできる職場環境を広めていきたいと考えます。 MantaFrogクッキーブランドには、沖縄の豊かな食材と、そこに携わるすべての人々によって実現する【新たなスイーツ文化の創造】という強い想いがあります。2030年までには沖縄を代表するクッキーブランドとして、県民に愛される活動・取組を推進し、そして美しく豊かな海を守るためにも尽力する会社でありたいと強く願っています。いつか”宇宙で食するクッキー”を夢見ています。	

(2) 今後2年間で特に注力する活動・取組 ※最低3個（経済・社会・環境）は記載必須

No.	今後特に注力する活動・取組		おきなわ SDGsアクションプランとの関係性			関連するステークホルダー	補足事項・留意点等	貴団体におけるKPI（進捗管理指標）			
	概要	分類 *任意の箇所は、ブルタウ ンから分類を選択ください。	優先課題	SDGs推進の目標	関連するSDGs ターゲット			管理する指標	現状値 (xxxx年)	目標値 (xxxx年)	
1	健常者と障がい者（多様な人々）がともに笑顔で働くソーシャルファームの実現のために、雇用する人數に占める障がい者（多様な人々）の定着数を高める。	社会	必須	優先課題 ①	①-2 障がいをはじめとした課題を持つ全ての人々にとって、協力的で包摂的なサービス、アクセスを提供する社会を実現する。	4.3 4.7 5.5 8.5 10.2	県内関係団体 (労働基準監督署、石垣市障害福祉課、石垣市商工会、ハローワーク、障がい者就労支援施設等)	*連携・協力するステークホルダーがいる場合に記入する。 *補足事項等があれば記入する。	・障がいのある方（多様な人々）の雇用から1年後の定着数 ・従業員への満足度調査における達成項目数	・2名 (2025年3月末) ・0項目 (未実施) (2025年3月末)	・2名 (2027年3月末) ・3項目以上 (2027年3月末)
2	県産食材を使用した特産品の販路拡大・売上拡大による、県産食材生産者への経済的貢献。	経済	必須	優先課題 ④	④-2 観光との連携・相乗効果などを活用し、県内企業の稼ぐ力を強化することで、県内経済循環の拡大や県民所得の向上を実現する。	8.9 9.9 11.4 17.17	石垣市商工会、 沖縄県 商工労働部 就用政策課、よろず支援沖縄、沖縄県物産公社、 複数の県内ホテル事業者	[沖縄県正規雇用化サポート事業]専門家派遣の活用	・新規販路開拓件数 ・売上目標	・1件 (2025年3月末) ・17,000千円 (2024年12月末)	・4件 (2027年3月末) ・20,000千円 (2027年12月末)
3	食品廃棄物をゼロにする活動：無駄な食物廃棄物をなくす。 PR活動：観光資源としての海を守る意識を高めるためのPR活動を推進し、関連する企業等を巻き込んでいく。	環境	必須	優先課題 ⑦	⑦-2 持続可能な消費・開発、自然と調和したライフスタイルの形成、廃棄物削減などによって資源循環型の社会を実現する。	6.3 6.6 12.3 12.5 14.1	県内のホテル事業者 県内の食材に関する研究会 沖縄県 生活福祉部 生活安全安心課、アサヒユウア(株)、味の素ゼネラルフーズ		・地域イベント・講習会の回数、参加者数 ・食品衛生検査の回数	・2回（8人） (2025年3月末) ・1回 (2025年3月末)	・4回（15人） (2027年3月末) ・2回 (2027年3月末)
上記の取組に加えて、今後特に注力する取組があれば、記載ください。（分類を「経済・社会・環境・ガバナンス・地域課題への貢献・国際課題への貢献」から自由に選択ください）											
4	従業員のやる気向上：障がいがあるても、第一線で活躍したい、その想いを実現すべく、自ら焼き上げたクッキーがホテルのシャンパン並び並びを見ることで、なおいっそその喜びや誇りまで共有していくことができ、自らの気を高めしていく仕組みづくり。 働きやすい職場づくり：「沖縄県正規雇用化サポート事業」を活用し、正社員化やさらなる働きやすい職場づくりを目指す。	地域課題への貢献	任意	優先課題 ①	①-5 安全・安心で充実感を持って働くことができる労働環境を促進し、誰もが生き生きと活躍できる社会を実現する。	4.4 4.5 5.6 8.6 10.3 17.17	県内のホテル事業者 全国百貨店の催事担当者・バイヤー		・従業員の御先への訪問・視察回数 ・従業員への満足度調査における項目達成数	・2回 (2025年3月末) ・0項目 (未実施) (2025年3月末)	・2回 (2027年3月末) ・3項目 (2027年3月末)
5	沖縄の伝統工芸とコラボした商品開発：離島としての石垣島・八重山諸島の特産品・付加価値商品としてだけでなく、沖縄の伝統工芸とコラボした新たな商品開発に着手する。 本州や海外への販路拡大：本州や海外への展開を視野に入れることで、地域素材のさらなる拡大や沖縄の菓子（スイーツ）文化に寄与したい。	地域課題への貢献	任意	優先課題 ⑪	⑪-4 多様な文化やスポーツ等の活動や交流、地域の資源を活かした、地域活性化や産業振興、国際交流を実現する。	8.2 8.5 17.17	関係団体 (地域の関係団体、研究会、石垣市商工会、沖縄県よろず支援拠点、沖縄県振興公社、沖縄県物産公社、民間事業者)		・本州への販路開拓件数 ・海外への販路開拓のための交渉件数	・0件 (2025年3月末) ・0回 (2025年3月末)	・1件 (2027年3月末) ・1回 (2027年3月末)

(3) 各活動・取組に関する詳細 ※記載必須

各活動・取組に関する詳細	
*各取組内容を詳細に記載ください。なお、取組については現時点の達成度に限らず、将来的な展望や今後目標指す展開についても必ず記入してください。	
取組1	<p>取組の詳細</p> <p>地域での障がい者を含む多様な人々の雇用を推進するため、組織として持続可能な仕組みの構築が必要であることから、事業形態を就労支援施設等の社会福祉法人ではなく、あえて会社組織（合同会社）とし、利益を追求しながらも社会的使命を果たし安定した事業者として様々な人の雇用を中心にして「働きたい願う人の確保を行ってみたい」そのため2025年から「沖縄県正規雇用化サポート事業（採択済）」を活用し社会保険労務士や中小企業診断士の知恵を借りながら、正社員化など働きやすい仕組みを構築していく予定であり、いそゞの雇用の安定化・定着化を図る。</p> <p>取組において、現時点で実施／決定していること</p> <p>起業当初は社会福祉施設（就労支援施設）との連携によって事業を行ったが、補助金に頼る施設側の経営方針や障がい者を数としてしか捉えない方向性に対して、弊社との考え方との間に齟齬が出てきたことから、店舗内に厨房をつくり、障がい者を含めた多様な人材の直接雇用を行っている。報酬もアプローチが可能であること、障がいのある方々や短い時間でしか働くことのできない様々な立場の方々、在宅でしか作業のできない方などを雇用しながら、さらなるソーシャルファームの可能性と多様な働き方の実現、安定化をさらに目指し取り組みを加速してみたい。</p> <p>取組において、今後予定していること</p> <p>2025年に取り組む「沖縄県正規雇用化サポート事業（採択済）」を活用することで、就労規則の整備を行い、正社員化を図りたい。また、同事業を活用して働く人々の教育訓練のさらなるニーズ強化に努め、誰もが一定の水準で働くことができる仕組みを構築し、いつも学び、教え合う仕組みを進化させて雇用の安定化・定着化を図ってみたい。さらに、従業員へのアートも実施し、働きやすい職場環境の保全にも取り組んでみたい。コンフリクトの重要性について、都度話しあってみたい。</p> <p>KPIに対する指標の設定理由、目標値の妥当性、指標の計測方法</p> <p>現在、障がいのある方（多様な人々）を多名雇用していることから、更に働きやすい環境で効率的に有効な働き方ができるよう、厨房機器のレイアウトの見直し・機器の増設等を踏まえて、シフト体制等の平準化を図ることで、雇用の安定化・定着化を維持させてみたい。2025年に採択された「沖縄県正規雇用化サポート事業」を活用し、店舗（厨房）の狭小からくる働きづらさの改善に着手し、柔軟なシフト体制や障がいの特長による仕事の配分など、事業課題の整理を進めてみたい。また、従業員が働きやすい導線整備・必要なマニュアルの整備等を行うことで、障がい等の程度に応じた作業工程管理ができると考えることから、「満足度調査」としてアンケートを実施し職場の働きやすさをさらに向上させたい。当然ながら、誰にしても笑顔の絶えない職場環境を維持することが、働く従業員すべてにとって大切なことと考える。障害の有無に関わらず、働きやすい環境をさらに目指してみたい。</p> <p>取組を推進する体制</p> <p>昨年度採用した幹部候補の方に、社内でのリーダーの業務を担つてもらいために、就業規則をはじめ、健康管理・食品管理に関する教育やOJT研修を定期的に実施し、さらなる組織の一員である意識を高めてもらおう。そのための情報収集や、他の事業者の商談内容などを含めたやり取りなどのパワーハラスメントを伝授してみたい。また、県内のホテルへの販路拡大を増やすため、営業活動も加速させてみたい。「沖縄県正規雇用化サポート事業」に採択されたことで、正社員化や周辺規程の整備もさらに充実させてみたい。</p>
取組2	<p>取組の詳細</p> <p>石垣・八重山・沖縄の食材にこだわることで、他社のスイーツとの差別化を図り、付加価値の高いコロナ客層をターゲットとしていく。地域の素材を大切にこだわらないの「ここでしか買えないもの」を、「MantaFrog 石垣島クリークで作られないもの」を目指し、そこで働く障がい者や多様な人々の雇用を安定的に維持し、ひいては販売の向上につながる仕組みを構築していく。商品力の強化のため、県内に開催される様々な賞レースに出品することで、MantaFrogとしてのブランド力とともに売上増につなげていく。</p> <p>取組において、現時点で実施／決定していること</p> <p>「第26回・第27回沖縄県商工会特産品コンテスト」での受賞をきっかけに、今年度以降も同様の賞レースに参加し、知名度の向上及び「MantaFrog」のブランド化に努めていくことで、売上も増加させていく。また、「沖縄県正規雇用化サポート事業」の採択を受け、専門家派遣による活用を行い、精度の高い仕組み作りに着手する予定である。</p> <p>取組において、今後予定していること</p> <p>2年連続で実施した「沖縄県商工会連合会特産品コンテスト」「あらんぐりん市」への参加の機会を得たことで、さらなる販路拡大に向けた商工会や県内各種組織との連携を強めて、地域や各社における食品に関する規程への準拠点などを整えながら出展への準備を進めていく。さらに、県内の有名ホテルからの特別スイーツ作成の打診も来ていることから、さらなる販路拡大につながるよう、今後は計画的に需要に応じた商品展開が可能となるよう販促活動・営業活動を高めていく。2025年秋から年明けにかけて、東京の複数百貨店へのイベントにも参加予定していることから、継続的な取引ができるよう知名度獲得を視野に活動を加速させ、売り上げ目標を達成していく。また2025年に採択された「沖縄県正規雇用化サポート事業」の採択を受け、専門家派遣による活用を行い、精度の高い仕組み作りに着手する予定である。</p> <p>KPIに対する指標の設定理由、目標値の妥当性、指標の計測方法</p> <p>現時点での新規販路開拓件数は1件であるが、今後は付加価値の高い商品を入手することで県内の各ホテルへの商談の回数を増やしていくことで、弊社を取り巻く雇用や販売のアップの条件につながる大切な要素であると考えている。すでに県内の有名ホテルからの特別スイーツ作成の打診も来ていることから、従業員を増やし、また販賣向上をさせて商品を潤滑に販売できる仕組みが構築できると考える。2027年3月末までには新規販路開拓件数4件し、販路拡大の機会を増やしていくことで、雇用の安定化や販売アップにつなげていくことができるようと考える。</p> <p>取組を推進する体制</p> <p>現在、代表及び執行役員の2名に顧問コンサルタント1名、幹部候補従業員1名、社員5名で商品製造を行っているが、今後も適宜、商品供給量に応じて人員を確保していく。また、「沖縄県正規雇用化サポート事業」の専門家派遣事業を活用し、正規雇用化・安定化に努めていく。販路拡大に関しては、沖縄県産業振興公社・石垣市商工会・よろず支援沖縄等の外部機関と連携し、積極的に商談等に臨んでみたい。</p>
取組3	<p>取組の詳細</p> <p>食品を扱う事業者として、余剰品や不良品を手に抱えることのある、幹部候補従業員1名、社員5名で商品製造を行っているが、今後も適宜、商品供給量に応じて人員を確保していく。また、八重山・沖縄の自然食材を使うことで、6次産業に対する支援を継続的に行なっていく。また、観光資源である海を守るために、各ホテルや県の「二つ研究会等の組織の依頼を受け、講演活動やイベントへの参加機会も設けていく。2030年には、新包材の導入等により、賞味期限の延長や不良品の出現を抑えることで、廃棄商品0（ゼロ）を達成していく。</p> <p>取組において、現時点で実施／決定していること</p> <p>主力商品である「バニラマンゴ」がオーブンの火加減等で破損してしまった時に、「サバに埋もれたマンゴ」としてB級品として安価に店頭で販売している。沖縄県食品口減削県民運動パートナーハウスにも登録し、店舗をあげて食品口減削に取り組んでいる。味的には劣らないことから観光客の皆様には好感をもって受け入れられているため、廃棄するクッキーがほとんどなくなっている。また、アサヒビール関連会社とタッグを組み「石垣島ビアンブラー」と「アロマーブル」のアップサイクル商品の販売等に力を入れ、海や山への不法投棄が軽減されるよう、店舗でもPOPやポスターを作成して積極的に啓発活動を行っている。また開催するイベントや研究会にもこれから積極的に参加していく予定である。小さなことではあるが、店舗でクッキーを配送する際に、シレーラー裁断紙を再利用して緩衝材を作り、プラスチック系箱包材の使用の抑制に貢献している。賞味期限・消費期限を伸ばすための食品分析検査を実施すると同時に、新たな保存期間を延伸する包材・環境にやさしい包材の調査を行い、積極的に導入を進めてみたい。</p> <p>取組において、今後予定していること</p> <p>さらなる計画的な生産体制の構築を行うと共に、商品廃棄物0（ゼロ）を維持していくための取り組みを行っていく。包材に関しては、環境にやさしい素材や食材の保存期限延長に役立つ新商品（より密閉度の高い包材や酸素透過率の低いもの）を採用することで、廃棄商品や賞味期限切れ商品をなくしていく（現在の食品衛生検査内容を精査中）。ANAインター・コチニタル・石垣リゾートで開催されている「やいまマルシェ」等、積極的に環境に貢献できるイベントや研究会・出展にも参加していく。</p> <p>KPIに対する指標の設定理由、目標値の妥当性、指標の計測方法</p> <p>当社の様々な取組について、今後もしていくに顧客や観光客・島民との会話を重視し、意見を貢献する中で島で活動する責任ある事業者として、来店者数の増加や意見集約をまとめていき分析も行ってみたい。間接的には「海を守る」を大切に取り組みとして海洋環境の保護や向上を目指して、「石垣島ビアンブラー」「アロマーブル」等のアップサイクル商品の販売でPOPやポスターを作成して販売している。同時に、環境や地域に連携する環境保全活動や講演会・研究会などに積極的に参加したり、講演・講習の回数を増やしながら、環境保護に取り組む姿勢をPRしていく。また、商品の賞味期限を伸ばすために「食品衛生検査」の項目の精査を行い、新たに開発された包材を使用することで2030年までに廃棄商品0（ゼロ）を維持していく。</p> <p>取組を推進する体制</p> <p>全従業員及び顧問コンサルタント等の意見も踏まえ、イベントへの参加、講演会等での登壇及び参加の機会を捉えて積極的に活動していく。そのための社内研修の充実も図ってみたい。また、食品衛生検査会社と検査項目の調整を行うことで、廃棄商品0（ゼロ）の目標を達成していく。</p>
取組4	<p>取組の詳細</p> <p>過去に施設等で働いた経験のある従業員（障がい者）からの意見を聞く中で、「笑顔で働きたい」「第一線で活躍してみたい」「自分の作った商品がどこで販売されているのか見てみたい」などの率直なものが目立った。当社では、クリーで沖縄一世界一を目指す「世界第2位のパティシエ」朝田晋平氏を招き、地域の食材を使つて質の高いクッキー開発を行なって、観光客に受け入れていただける味を作り出す努力を重ねており、そこで働く人々の思いを実現するための取組を行なっている。「沖縄県正規雇用化サポート事業」も活用し、正社員化や従業員のさらなる「やる気」の向上を目指す。</p> <p>取組において、現時点で実施／決定していること</p> <p>現在、有名ホテル5件、老舗漆器店が経営するカワヒ1件、ハイクラスの客層が利用する「隠れ宿」1件と取引がある。厨房で働く従業員に、研修としてホテルでの陳列や商談に参加させたり、厨房をお客様から見えるように透明板で仕切りを設けて作業している様子をお客様に見えてもらったり、お客様の声が厨房内の従業員に届くよう配慮を行い「やる気」と「自信」の醸成を図っている。</p> <p>取組において、今後予定していること</p> <p>さらなるホテルへの販路拡大を目指すことが、従業員の生き甲斐や仕事への士気を高めることにつながるを考えている。また、従業員への満足度調査を実施する中で、達成目標を定めやすが定め率や貢献度のアップに繋がり、ひいては従業員の待遇の改善や賃金アップにも良い結果をもたらすものと考える。</p> <p>KPIに対する指標の設定理由、目標値の妥当性、指標の計測方法</p> <p>現在、従業員が実際に自分たちで働いたクッキーがどのようにホテルや卸先の店頭に並んでいるのかを見に行くことで、やる気の創出や自信・誇りといったものを得ることで、真に働くことの意義を実感してもらおう。また、実際の売り場での店員・スタッフとの会話から得られるヒントも大きな成果となると考える。商品納入先のホテル等に理解を得ながら販路拡大を継続することが、働きたいと思う従業員を増やすこと・定着化にもつながり、かつ待遇や賃金のアップにつながる要素であると考える。現時点では2回の訪問にとどまるが、2回の訪問を維持して、やりがいのある職場づくりをさらに目指したい。</p> <p>取組を推進する体制</p> <p>関係団体（地域の関係団体、研究会、商工会、沖縄県よろず支援拠点）からの意見を聴取しながら、当社内で研修体制の充実・運営の改善策などを推進していく。2025年から沖縄県正規雇用化サポート事業を活用し、社会保険労務士等の専門家に助言をいただきながら、働きやすい職場を目指していく。毎週行っている顧問コンサルタントとの定例会等で課題を整理し、タイムリーな課題解決を図りながら、理念として掲げるイクルーシブな社会の実現への貢献度も高めていく。</p>
取組5	<p>取組の詳細</p> <p>第1段階として、沖縄県内のホテル卸にとどまらず、従業員と共に「大きな夢」を叶えすべく、沖縄・琉球の伝統工芸品を製造する伝統漆器の事業所とコラボレーションして、新たな沖縄スイーツ文化の構築に寄与したい。また第2段階として、沖縄・琉球伝統文化をスイーツに拡大し海外にも展開すべく、新商品として開発予定である「（仮称）葉菓子箱」を伝統漆器の事業所とのコラボレーションで作成し、海外へ販路拡大を視野に規程の整備にも着手していく。</p> <p>取組において、現時点で実施／決定していること</p> <p>2025年8月末に創業4年を迎えるにあたり、5つ星ホテル「ANAインター・コチニタル・ホテル石垣リゾート」における「部屋付けクッキー」を担当した実績とノハワを活かして、沖縄発の焼菓子として、沖縄本島・琉球工芸とのコラボレーションや、本州そして世界に販路を拓拓するための規程の整備等も行い、着実な夢の実現を図ってみたい。</p> <p>取組において、今後予定していること</p> <p>足掛かりとして、沖縄圏内のホテルへの納入を帶びなくなり、更に付加価値を高めるべく沖縄の食材を使った「部屋（Club）付け」、「VIP対応」用のクッキーを開発し、魅力ある焼菓子の提供を行っていく。2027年には、沖縄伝統工芸品の琉球漆器を使った「（仮称）葉菓子箱」を作り、沖縄・琉球文化をスイーツの世界にも広げてみたい（伝統漆器の事業所とのコラボレーション）。</p> <p>KPIに対する指標の設定理由、目標値の妥当性、指標の計測方法</p> <p>2027年3月末までに沖縄本島及び本州の百貨店向けの新商品開発を行い、新たな販路拡大につなげてみたい。また、2030年には世界に向けた沖縄らしい新商品を展開させてみたい。未定な部分が多いことから、積極的に情報収集を関係団体と連携しながら、事業化を進めてみたい。本州・海外への新規販路開拓件数を指標としている。本州への販路拡大は、2025年3月末時点では0件であるが、2027年3月末には1件としたい。海外へは、2030年度末までに1件の販路開拓を実現し、新たな夢の実現につなげたい。</p> <p>取組を推進する体制</p> <p>2027年3月末までに、関係団体（地域の関係団体、研究会、商工会、沖縄県よろず支援拠点、沖縄県振興公社、および民間事業者）との調整や打合せを行なうながら沖縄・琉球伝統工芸品（琉球漆器）を使った「（仮称）葉菓子箱」を実現させ、新たな沖縄スイーツ文化に寄与したい。また、2030年度末までに海外への販路を開拓すべく、規程の整備や市場調査等を行って行なう。毎週行っている顧問コンサルタントとの定例会等で、課題を整理していく。</p>